

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

創設120年目を迎える府立富田林高等学校に大阪府立初の（併設型）中高一貫校として併設された本校は、6年一貫した教育を通して生徒・保護者・地域のニーズに応じた生徒の進路実現を図り、地域・社会に有為な人材（グローバル・リーダー）の育成を使命とするとともに、未来に向けた挑戦を続ける。

＜中高一貫校としてめざす学校像＞

「地球的視野に立ち、地域や国のことを考え行動し、国際社会に貢献する人材」の育成校をめざす。

＜中高一貫教育を通して育みたい力＞

- (1) グローバルな視野とコミュニケーション力
- (2) 論理的思考力と課題発見・解決能力
- (3) 社会貢献意識と地域愛

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

(1) カリキュラムマネジメントに基づき教育課程を編成し、各教科・科目においては「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組み、知識・技能はもとより、思考力・判断力・表現力及び、生徒の主体性・協働性を育む。

ア 45分×7限授業（35単位時間（45分授業））により、2学期制のもとに確かな学力の育成に取り組む。

イ 「授業改革推進チーム」を核として、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に全教員で組織的に取り組む。

ウ 6年一貫のCan-doリストに基づく英語の運用能力の素地を育成する。

エ 学習時間を記録する生徒手帳の機能を活用するなど、家庭での学習習慣の確立のための工夫をする。

※（生徒向け）学校教育自己診断における授業満足度80%以上をめざし、その後も80%以上を維持する。 (H29 86% H30 80% R1 86%)

2 高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み

(1) 中高一貫して「探究」と「貢献」をキーワードに教育活動を組み立て、地域に対する愛情を基礎に、国際社会に貢献しようとする高い志をもつ人材を育成する教育を推進する。

ア・「総合的な学習の時間」では、学年に応じた探究プログラムを改善し、地域をフィールドとして広域外部サポーター（同窓会、自治体、企業、大学、NPO等）と協働で課題発見や課題解決能力の育成等、科学的リテラシーを育成するとともにキャリアプランニング能力を育成する。

イ・中高一貫した進路指導実現のためのシステムを構築する。

※（生徒向け）学校教育自己診断における「探究活動の満足度」80%以上をめざし、その後も80%以上を維持する。(H29 80% H30 81% R1 83%)

また、「これからの時代や自分の将来について考える機会がある」の満足度70%以上をめざし、令和4年度には75%以上をめざす。

(H29 66% H30 66% R1 75%)

3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み

(1) 充実した学校生活こそが、「生きる力」の源泉になることから、中高一貫教育の観点から学校行事・部活動等の一層の充実を図る。

ア <中高一貫教育を通して育みたい力>の育成に向けて、学校行事を充実させるとともに部活動を奨励し文武両道をめざす。

イ 国際社会の一員として必要な人権意識・マナーを醸成する。

ウ 互いに高め合う、あたたかな仲間づくりを進める。

※（生徒向け）学校教育自己診断の学校行事満足度90%（令和元年度は89%）をめざし、その後も90%以上を維持する。(H29 87% H30 88% R1 89%)

(2) 異文化交流による国際教育を中高一貫して推進する。

ア 国際交流（マレーシア、台湾、ベトナム、タイ、オーストラリア、アメリカ等）の充実及び新たな交流国の開拓

イ・台湾姉妹校や、高校との連携による高校姉妹校との交流の継続

・グローバル人材の育成に向け、中高一貫教育を踏まえた段階的海外研修を計画、実施する。

※（生徒向け）学校教育自己診断結果で「国際交流等を通じたグローバルな視野とコミュニケーション力の育成」90%をめざし、その後も90%以上を維持する。(H29 95% H30 89% R1 93%)

4 中高一貫校としての組織の活性化と地域・保護者との連携

(1) 中高一貫校として再編した分掌組織を機能させ、6年一貫した教育活動の充実を図る。

ア 中高一貫の観点でそれぞれ校種の校務分掌を有機的に関連付けて協働させ、その中で人材育成を図る。

イ 全国的な教育課程研究会への参加や、全国の教育先進校の視察を行い、中高6年間の教育内容を常に検討し改善に努める。

ウ 中高一貫校として相応しい学校Webページの充実を図るとともに、校長ブログ等による情報の発信を強化する。

※（保護者向け）学校教育自己診断における情報発信の満足度90%をめざし、その後は90%以上を維持する。(H29 92% H30 93% R1 89%)

(2) 地域・保護者と連携し、魅力ある学校づくりをすすめる。

ア コミュニティ・スクールとして地域と連携のもと魅力ある学校づくりの推進

イ 安全・安心な学校づくり

ウ 地域貢献を推進

※（生徒向け）学校教育自己診断における学校満足度90%以上(令和元年度は96%)をめざし、その後も90%以上を維持する。

(H29 90% H30 86% R1 96%)

また（保護者向け）学校教育自己診断における学校満足度90%以上をめざし、その後も90%以上を維持する。(H29 94% H30 93% R1 94%)

5 働き方改革の推進

(1) 業務効率の向上を図り、職員の心身の健康を維持する。

ア ノークラブデー、ノー残業デーの徹底し、時間外勤務を縮減する。

イ 校務の見直しによる業務の軽減化

ウ 「外部人材の活用等人的措置」により教職員の負担軽減を図る。

府立富田林中学校

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年1月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>() 内は昨年度</p> <p>1 学校満足度</p> <p>＊生徒・保護者ともに満足は高い。</p> <p><主な結果></p> <p>(生徒) 「富田林中学校に入学してよかった」96% (96)</p> <p>(保護者) 「富田林中学校で学ばせることが出来てよかった」95% (94)</p> <p>2 学力の育成</p> <p>＊授業改善にむけた取組みがさらに進んだことがわかる。(生徒回答)</p> <p>＊保護者は学力の育成に対する取組みに概ね満足。</p> <p>＊教員の授業内容やICTを活用するなどの工夫については、概ね良好。</p> <p>＊必要な宿題の量と生徒の家庭学習状況のバランスの調整が引き続き必要。</p> <p><主な結果></p> <p>① 授業</p> <p>(生徒) 「わかりやすく興味が持てる授業」92% (86)</p> <p>「内容を深く考えさせる授業」92% (88)</p> <p>「ICT機器活用」97% (97)</p> <p>(保護者) 「学校の学習活動への取組に満足」90% (88)</p> <p>(教員) 「『主体的・対話的で深い学び』を意識した授業」89% (89)</p> <p>「ICT機器活用」100% (89)</p> <p>「授業方法等を検討する機会」83% (56)</p> <p>② 家庭学習</p> <p>(生徒) 「宿題の量は適切である」63% (45)</p> <p>3 学校生活</p> <p>＊生徒指導全般に生徒の捉えが好転。</p> <p>＊生徒が学校生活について主体的に考え、生徒同士が高め合い認め合える学校づくりを推進していく。また、教員が生徒理解に基づいた指導方法の習得及び改善を進めることが引き続き必要。</p> <p><主な結果></p> <p>(生徒) 「生活指導に満足」83% (81) 「いじめ対応に満足」90% (87)</p> <p>「悩みを相談できる先生」57% (54)</p> <p>「悩みを相談できる友人等」86% (83)</p> <p>4 特色ある取組、豊かな感性</p> <p>＊本校独自のグローバル教育についての取組み及び学校行事に関して生徒・保護者両者は非常に満足。</p> <p>＊コロナ禍における国際交流、海外研修などのプランニングや実施方法については研究が必要。</p> <p>総合的な学習の時間などの探究活動については、プログラムの充実が必要。</p> <p><主な結果></p> <p>① 国際教育</p> <p>(生徒) 「グローバルな視野とコミュニケーション力育成に満足」96% (93)</p> <p>(保護者) 「国際交流満足度」94% (96)</p> <p>② 探究活動</p> <p>(生徒)</p> <p>「探究活動(深く考え、情報を収集し、発表する力の育成)」85% (83)</p> <p>(教員)</p> <p>「探究活動(深く考え、情報を収集し、発表する力の育成)」89% (78)</p> <p>③ 学校行事</p> <p>(生徒) 「学校行事への満足度」92% (89)</p> <p>(保護者) 「学校行事への満足度」91% (89)</p> <p>5 情報発信</p> <p>＊学校からの情報発信については概ね良好である。</p> <p><主な結果></p> <p>(生徒) 「情報発信に満足」92% (86)</p> <p>(保護者) 「情報発信に満足」92% (88)</p> <p>(生徒) 「学校からの連絡を保護者に伝えている」84% (83)</p> <p>(保護者) 「学校からの連絡を子ども通じて把握」67% (66)</p> <p>2 学校経営</p> <p>＊学校経営方針は明確化されている。</p> <p>＊中・高教員間連携については4年目を迎え連携が本格化した。</p> <p>＊中高一貫校の中学校長としての役割を明確にするとともに、産学官協働による教育活動を推進する。</p> <p><主な結果></p> <p>(保護者) 「教育理念や学校運営方針の表明」90% (90)</p> <p>(教員) 「教育理念や学校運営方針の表明」94% (89)</p> <p>(保護者) 「新しい教育活動への対応」88% (88)</p> <p>(教員) 「分掌、教員間、中・高教員間の連携」61% (17)</p>	<p>第1回(7月10日)</p> <p>○年度当初の新型コロナウイルス対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報・教材の提供等、的確な対応であった。 ・教材送付やワイヤレスルーターの提供にコミュニティ・スクールの仕組みを有効活用している。 <p>○リーフレット「富校版コミュニティ・スクール」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立派なものができた。 <p>○広域外部サポーター(同窓会・企業・大学・自治体・NPO等)との協働による教育活動の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会委員・各種コーディネーター・教員で構成する「コミュニティ・スクールコーディネーター会議」が発足し、まだまだ試験的ではあるが一つの動きが出来た。 ・今後はコミュニティ・スクールならではの探究活動を模索していただきたい。 <p>○教科用図書選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学における「教育課程の先取り」と「学習指導要領の改訂」のずれに教科ごとに上手く対応している。 <p>第2回(11月27日)</p> <p>○中高一貫1期生(高1)の現状及び高みをめざす指導・フォローアップのための指導等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中進生の保護者の要望(前校長が示した「京阪神大に30人合格できる学校づくり」)に対しては、中高の教員が自分の問題として考え、答えを出そうとする姿勢を持たないといけない。 ・保護者の要望を受け止め、教科を中心に説明会を開いたことはよかった。大学に通るだけが目標ではなく、さらに将来を見据えて、生徒たちの実態を見ながら、プランの修正をしていただきたい。 ・カリキュラム・マネジメントを推進して6年間の学びの配列表を作成することで、教員の目標が一致し、保護者に対しても説得力を持つようになる。 <p>○探究活動に係る社会協働の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が企業と繋がって学ぶという形(企業訪問や企業からの課題提供)であるが、子どもたちが受け身になっている。 ・中高一貫の利点を生かして、先輩が後輩へアウトプットする機会が増えればよい。 <p>○本協議会による学校との協働と今後の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動などで企業が学校に来る日程などを教えてもらえれば、本協議会の委員が子どもたちの学びの様子を見ることができる。 <p>第3回(2月19日)</p> <p>○学校関係者評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの指摘に対応が出来ていて、信頼構築につながっている。 ・保護者の負担する費用に関して誠実であることが、保護者からの信頼をさらに高める。 ・コロナをマイナスにとらえず、Web会議での情報のリアルタイム配信など、プラスに変えている。 ・高校教員の「中学との情報共有・協働」の評価が極めて低い。中高一貫校の最大の課題である。 ・中高一貫校発足当初から、高校教員と管理職の温度差を感じていた。 ・ポストコロナを生き抜く生徒の視点に立った話し合いが必要である。(例えば「海外＝米国」からの脱却) <p>○来年度学校経営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフプロジェクトでカリキュラムマネジメントを推進し、学びを可視化するなら、結果の測定も必要である。 <p>【承認事項】 令和3年度学校経営計画</p> <p>○中学の制服検討に係る進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制服制度変更のメリットだけでなく、デメリットも考慮すべきである。 ・年に数回しか着用義務のない制服を購入することには、保護者は抵抗があるだろう。 ・生徒の意見を十全に調査する必要がある。 ・今の中高の服装の状況を理由と共に説明しつつ、グローバルな視点を踏まえながら論じてほしい。 <p>○本協議会の今年度の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインと対面を合わせたハイブリッド形式での協議会は良かった。 <p>第4回(3月7日)</p> <p>○全国発表(文部科学省)「高校におけるコミュニティ・スクール ～持続可能なしくみの実現～」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域フォーラム」については、最初にめざした方向になってきている。 ・富校のCSは、学校の取り組みによる「テーマ型」と地域との繋がりによる「ローカル型」の2つを成し遂げることができている。中高一貫校ということもあり、6年通して取り組むことができるのは強みである。 ・富校版CSの仕組みが全国的に広がっていけば、教員もやりがいが出るのでは。教育庁がもっと広めていかなければ教員の負担になる。 <p>○「とんこう地域フォーラム」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域フォーラム」での発表では、お互いにコミュニケーションをとり、考えて内容をしっかりと伝えることができていた。伝え方のスキルがこの年代で身につけているのは驚いた。 ・発表するには知識や表現力など様々なことが必要となる。社会を生き抜く人間力が身につくまでの過程が大切なので、学校では意識してもらいたい。 <p>○学校運営協議会としての今年度の振り返り及び来年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の協議会是对面とオンラインのハイブリットがよかった。 ・フォーラムの見学のように実際に来て伝えることもある。決まったことはオンラインでも伝えられる。 ・中学の制服検討の件は次年度の継続審議となるので、今後も取り上げていきたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1) カリキュラムマネジメントに基づき教育課程を編成し、各教科・科目においては「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組み、知識・技能はもとより、思考力・判断力・表現力及び、生徒の主体性・協働性を育む。</p> <p>ア 45分×7限授業(35単位時間(45分授業))により、確かな学力の育成に取り組む。</p> <p>イ 「授業改革推進チーム」を核として、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に全教員で組織的に取り組む。</p> <p>ウ 6年一貫のCan-doリストに基づき英語の運用能力の素地を育成する。</p> <p>エ 家庭学習ノートの一層の活用を図るなど、家庭での学習習慣の確立のための工夫をする。</p>	<p>ア・45分×7限授業(中学校では週35単位時間)により、学校生活をデザインする。</p> <p>イ・年度当初に教科ごとにアクティブ・ラーニングの取組を検討し、各教員が「主体的・対話的で深い学び」の授業デザインをもてるようにする。</p> <p>・定期考査において、「思考力・判断力・表現力」を問う問題づくりを進め、教科の枠を超えて学び合えるように取り組む。</p> <p>・中高合同の研究授業を実施するとともに、全教科間で授業交流期間を一定期間設け、各教科での研究授業を他教科からも授業参観がしやすい環境をつくる。また、授業観察シートを活用して教科の専門性を超えた授業研究をおこなう。</p> <p>・生徒による「授業アンケート」を7月、12月に実施し、全教員による授業改善シートを作成する。</p> <p>・ICT環境の一層の充実を図るとともに、全教科でICT機器を活用した授業を展開し、成果を生徒用学校教育自己診断で測る。</p> <p>ウ・毎朝始業前に10分間の「モーニング・イングリッシュタイム」を実施し、中学校初期段階からリスニング力を強化する。</p> <p>・オールイングリッシュでの体験をベースとした「イングリッシュキャンプ」等を1・2年生で実施する。</p> <p>・中学1・2年生全員に英語能力試験(外部試験)を実施する。</p> <p>エ・家庭学習記録ノートを作成することで、家庭での学習時間を増やす。</p>	<p>ア・(生徒向け)学校教育自己診断における授業満足度80%以上(令和元年度86%)をめざす。</p> <p>イ・(教員向け)学校教育自己診断「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)を意識して授業をしている。」90%以上(令和元年度89%)をめざす。</p> <p>授業改革推進チームに中学教員を授業改革メンバーとして位置づける。</p> <p>・考査問題に、思考力・判断力等を問うものが含まれていたか。</p> <p>・授業交流期間を設け、すべての教科で授業研究が実施できたか。また、年に2回以上の研究授業を実施するなど校内全体で授業研究を実践できたか。</p> <p>・2回の「授業アンケート」を実施し、全教科による授業改善シートが作成され改善がすすんだか。</p> <p>・ICT機器を活用した授業ができたか。 (教員向け)学校教育自己診断「ICT活用授業を行ったことがあるか」90%以上をめざす。 (令和元年度89%)</p> <p>ウ・「モーニング・イングリッシュタイム」を通年で実施できたか。</p> <p>・「イングリッシュキャンプ」を実施できたか。</p> <p>・全学年が英語能力試験(GTEC)を受験し、その技能別結果を分析できたか。</p> <p>・上記の取組結果を総合的に指導方法の工夫改善につなぐことができたか。</p> <p>エ・(生徒向け)学校教育自己診断「家庭学習を平均して1日90分以上している」60%をめざす。 (令和元年度56%)</p>	<p>ア・(生徒)授業満足度92%(R1 86%) (◎)</p> <p>イ・(教員)「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業89%(R1 89%) (△)</p> <p>・授業改革推進チームに中学教員を中高通じての授業改革推進リーダーとして位置づけ、「確かな学力を育成する授業・評価サイクルづくり～アクティブラーニングによる思考力・判断力・表現力の育成とその評価～」をテーマに研究を進めた。 校内研修2回 *講師：府指導主事8月、 福岡県校長11月 (◎)</p> <p>・考査問題に、思考力・判断力等を問う問題を1問以上含めた。(◎)</p> <p>・授業交流期間を設け(2回)、中高合同研究授業(3教科)全教科で授業研究を実施(1回) (△)</p> <p>・2回の「授業アンケート」を実施し、授業改善シートを作成するとともに、各教科での上記テーマを意識した授業改善をすすめた。 (◎)</p> <p>・(教員)ICT機器を活用100%(R1 89%) (◎)</p> <p>ウ・「モーニング・イングリッシュタイム」を通年で実施。(○)</p> <p>・「イングリッシュキャンプ」を実施。(○)</p> <p>*校内での実施</p> <p>・全学年全員が英語能力試験(GTEC)技能別結果を分析した。(英語力レベルが1ランク向上)</p> <p>・取組結果より「富中グローバルプログラム」をプランニングした。(◎)</p> <p>*オンライン英会話を試行</p> <p>エ・(生徒)「家庭学習1日90分以上」65%(R1 56%) (◎)</p>

府立富田林中学校

<p>2 高い志をはぐくみ、 進路実現をめざす 取り組み</p>	<p>(1) 中高一貫して「探究」と「貢献」をキーワードに教育活動を組み立て、地域に対する愛情を基礎に、国際社会に貢献しようとする高い志をもつ人材を育成する教育を推進する。</p> <p>ア・「総合的な学習の時間」では、学年に応じた探究プログラムを改善し、地域をフィールドとして広域外部サポーター(同窓会、自治体、企業、大学、NPO等)と協働で、課題発見や課題解決能力の育成等、科学的リテラシーを育成するとともにキャリアプランニング能力を育成する。</p> <p>イ・中高一貫した進路指導実現のためのシステムを構築する。</p>	<p>ア・総合的な学習の時間の中で探究活動の素地を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の中で、大学や高校教員による自然科学に関する専門的な講座を開設することにより、自然科学探究への意欲・関心・態度を育成する。 総合的な学習の時間の中で「探究」と「貢献」をキーワードとした教材を活用し、自己肯定感を高めるとともに将来の進路や生き方について考え、自ら切り開いていこうとする姿勢を身に付ける。 広域外部サポーター(同窓会、自治体、企業、大学、NPO等)との連携を基礎に、課題を見つけ、その解決に向けて生徒が協働的に取り組み、成果を「とんこう地域フォーラム」等で発表する。 <p>イ・生徒全員に学力推移調査及び総合学力調査(外部試験)を実施し、将来の目標を早期に見えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中高一貫した学力向上実現のための組織を構築し、効果的に機能させる。 毎週火曜日の学習優先日に学習支援を実施する。 	<p>ア・コミュニティ・スクールのしくみを活用し、広域外部サポーター(同窓会、自治体、企業、大学、NPO等)との連携を基礎に総合的な学習の時間の中で専門的な講座や講演等を実施できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定した目標に従い、探究型の課題研究ができ、また個人やグループのプレゼンテーションの質が高まっているか検証できたか。(ルーブリックの活用) (生徒向け)学校教育自己診断における「総合的な学習の時間」の満足度80%以上をめざす。(令和元年度86%) (生徒向け)学校教育自己診断における「これからの時代や自分の将来について考える機会がある」の満足度70%をめざす。(令和元年度75%) 探究活動の発表として広域外部サポーター(同窓会、自治体、企業、大学、NPO等)と協働で、「学びと育ち」地域フォーラムを開催できたか。 <p>イ・学力推移調査及び総合学力調査の分析結果を保護者に公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域外部サポーター(同窓会、自治体、企業、大学、NPO等)との連携に努め、学習優先日(毎週火曜日)に中学・高校教員、高校生、地域人材(大学生等)を活用した学習支援を実施できたか。 	<p>ア・広域外部サポーター活用 (◎) 自然科学講座「富中サイエンス」(専門家)(4回/年)を物理・化学・生物・地学の分野別に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 探究基礎講座(大学教授)(4回実施+3回予定) トップランナー講演会(同窓会、企業等)(5回) (○) (生徒)「総合的な学習の時間」満足度85%(R1 83%) (○) (生徒)「将来について考える機会」満足度78%(R1 75%) (○) 成果発表 学年(2月)、「学びと育ち」地域フォーラム2020(3月) (○) <p>イ・学力分析結果について保護者説明会を実施(6月、2月) (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来面談(3年対象10月 大学進学指導経験教員(高校)) (○) 未来セミナー(3年生対象10月 大学入試説明会) (◎) 富中未来塾(学習支援)を実施 地域人材(大学生等)11名 (○) 富田林高校への進学実績(99%) (○)
----------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

府立富田林中学校

<p>3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み</p>	<p>(1) 充実した学校生活こそが、「生きる力」の源泉になることから、中高一貫教育の観点から学校行事・部活動等の一層の充実を図る。</p> <p>ア <中高一貫教育を通して育みたい力>の育成に向けて、学校行事を充実させるとともに部活動を奨励し文武両道をめざす。</p> <p>イ 国際社会の一員として必要な人権意識・マナーを醸成する。</p> <p>ウ 互いに高め合う、あたたかな仲間づくりを進める。</p> <p>(2) 異文化交流による国際教育を中高一貫して推進する。</p> <p>ア 国際交流(マレーシア、台湾、ベトナム、タイ、オーストラリア、アメリカ等)の充実及び新たな交流国の開拓</p> <p>イ・台湾姉妹校や、高校との連携による高校姉妹校との交流の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材の育成に向け、中高一貫教育を踏まえた段階的海外研修を計画、実施する。 	<p>(1)</p> <p>ア・中高合同の学校行事の効果的な実施と成果を検証する。</p> <p>① 文化祭・体育祭における準備委員会を高校生と協働で活性化させる。</p> <p>② 修学旅行等を3年間見通した計画を立てることで、内容の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動への参加を奨励し、文武両道をめざすとともに中高一貫した指導体制を整える。 <p>イ・中学校段階に相応しい人権及び生徒指導研修を計画・実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、遅刻指導の充実と基本的な生活習慣を身に付けさせる。 <p>ウ・生徒自らが課題を見つけ、自分自身や仲間とともに解決していこうとする力を育てる。中心となる活動として「メークハート運動」を実施し、学校全体で取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫した「いじめ基本方針」に基づきいじめを許さない仲間づくりを計画的に実施する。 ・演劇的な手法を用いてコミュニケーション力の育成を図る。 <p>(2)</p> <p>ア・高校との連携により、ベトナム、タイ、オーストラリア、アメリカ等をはじめとする様々な国の生徒との交流を充実させる。</p> <p>イ・台湾姉妹校、また、高校との連携により高校姉妹校との交流を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行先である台湾において学校交流するとともに、異文化を理解する態度をはぐくむ。 ・コミュニティ・スクールのしくみを活用し、中高6年間を見通した海外研修を複数計画し、それぞれの研修のねらいを明確にして実施する。(中学ではマレーシア等でグローバルリーダー育成海外研修旅行を実施し、世界的な視野を広めるとともに、多様性を理解しようとする態度をはぐくむ。) 	<p>(1)</p> <p>ア・(生徒向け)学校教育自己診断結果における行事満足度90%をめざす。(令和元年度89%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率90%以上(令和元年度90%)を維持する。 <p>イ・課題に合致した人権研修の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(生徒向け)学校教育自己診断結果における人権教育満足度90%(令和元年度89%)をめざす。 ・(生徒向け)学校教育自己診断結果における校則遵守率90%(令和元年度93%)を維持する。をめざす。 <p>ウ・「メークハート運動」を実施し、生徒自らが課題を見つけ、解決に向けた取組みを実行できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(生徒向け)学校教育自己診断結果における「いじめ対応」に対する満足度80%(令和元年度87%)をめざす。 ・(生徒向け)学校教育自己診断結果における悩み相談の満足度「相談できる先生」55%以上(令和元年度54%)、「相談できる友達・先輩後輩等」75%以上(令和元年度83%)をめざす。 ・演劇的な手法を用いたコミュニケーション力の育成を実施する。 <p>(2)</p> <p>ア・多くの生徒が海外の中・高校生と交流できたか (国際交流を3回以上開催する。)</p> <p>イ・台湾の姉妹校と交流ができたか。</p> <p>ウ・コミュニティ・スクールのしくみを活用し、マレーシア等でのグローバルリーダー育成海外研修を実施できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(生徒向け)学校教育自己診断結果で国際交流満足度90%以上(令和元年度93%)をめざす。 	<p>(1)</p> <p>ア・(生徒)行事満足度92%(H30 89%) (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率86.1%(R1 90%) (△) <p>イ・(教員)人権(SDGsに基づいた人権)講演会(8月)LGBT研修を実施(12月)</p> <p>(生徒)講演会、体験学習等</p> <p>国際理解教育、障がい者理解教育、在日韓国朝鮮人問題学習等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(生徒)人権教育満足度93%(R1 89%) 総合的な学習の時間等を活用し実社会や学校生活での課題について学習を深めるとともに、当事者の話を聞くなど、生徒の感性を磨く機会を設けた。(○) ・(生徒)校則遵守率94%(R1 93%) (○) <p>ウ・「メークハート運動」を実施(12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活における課題について見直し、改善策に向けた取組みを実施した。(◎) ・コミュニケーション力を高めるため、富田林駅にて大阪府・地域と協働で「あいさつ運動」を実施し、マスコミにも紹介された。 ・大阪府中学生徒会サミットに参加し、いじめについての未然予防や解決する方法について市町村代表校生徒会とともに話しあった。 ・(生徒)「いじめ対応」満足度90%(R1 87%) (○) (保護者)「いじめ対応」満足度86%(R1 86%) ・(生徒)悩み相談満足度57%(R1 54%) カウンセリング期間を設け実施した。(2回/年)(○) 「相談できる友達等」86%(R1 83%) (○) ・「演劇的な手法」(総合的な学習、文化祭)(○) <p>(2)</p> <p>ア・国際交流ビデオレター等1回(エチオピア)(△)</p> <p>イ・台湾姉妹校交流1回(ビデオレター等)(○)</p> <p>ウ・グローバルリーダー育成海外研修グローバルリーダー育成海外研修は中止となった。(一)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動によりオンライン英会話を試行した。 ・「富中グローバル」として世界で活躍する方に講師を依頼しオンライン講演会を実施した。(新規) ・(生徒)国際交流満足度95%(R1 93%) (○)
---------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

府立富田林中学校

<p>4 中高一貫校としての組織の活性化と地域・保護者との連携</p>	<p>(1) 中高一貫校として再編した分掌組織を機能させ、6年一貫した教育活動の充実を図る。 ア 中高一貫の観点でそれぞれ校種の校務分掌を有機的に関連付けて協働させ、その中で人材育成を図る。 イ 全国的な教育課程研究会への参加や、全国の教育先進校の視察を行い、中高6年間の教育内容を常に検討し改善に努める。 ウ 中高一貫校として相応しい学校Webページに一新するとともに、校長ブログ等による情報の発信を強化する。</p> <p>(2) 地域・保護者と連携し、魅力ある学校づくりをすすめる。 ア コミュニティ・スクールとして地域と連携のもと魅力ある学校づくりの推進 イ 安全・安心な学校づくり ウ 地域貢献を推進</p>	<p>(1) ア・中学、高校それぞれの対応する分掌が協働できる会議システムを構築する。 ・中高一貫教育の観点で創設した分掌(中高一貫創生部)を機能させる中で、人材育成を図る。また、中高一貫校となって4年目を迎える次年度を契機に、分掌再編を検討する。 イ 全国の先進中高一貫校の視察と情報収集を通してカリキュラムや組織体制を充実させる。 ウ 中高一貫校としてふさわしい学校ウェブページとし、積極的に効果的な情報発信をする。</p> <p>(2) ア・学校運営協議会を設置し、学校運営や学校の課題に対して、教育課程を社会に開きより多くの方が学校運営に参画できるように努める。 ・「めざす学校像」の共有化を図るとともにコミュニティ・スクールについて情報収集及び研修を行う。 ・コミュニティ・スクールのしくみを活用し、ファーストランナーによる講演を実施し、高い志をはぐくむ。 イ・教員だけでは対応できない教育課題解決のための人材(SC、SSW、識者等)を「学校支援チーム」に効果的に配置する。 ・中高一貫した防災教育計画に基づき防災訓練等を実施するとともに、安全安心のための学校環境の整備を行う。 ・安否確認等を迅速に行えるよう、連絡手段を確立させる。また、適当な時期に想定連絡を実施する。 ウ・広域外部サポーター(同窓会、自治体、企業、大学、NPO等)を活用し、地域を知るとともに地域の課題を発見させる。 ・地域からの要請に応えるだけでなく、地域に出かける活動を取り入れる。 ・広域外部サポーター(同窓会、自治体、企業、大学、NPO等)と協働で探究活動の成果発表の場である「学びと育ち」地域フォーラムを開催する。 ・地域貢献活動を実施する。</p>	<p>(1) ア・中高それぞれの対応する分掌が協働的に機能することができたか。 ・分掌再編に向けての検討が具体化されたか。 イ 中高一貫校等の先進校情報を収集し、学校づくりに活かされたか。(視察を2回以上実施する。) ウ 中高一貫校としてふさわしい学校 web ページから、積極的に効果的な情報発信ができたか。(保護者向け) 学校教育自己診断における情報発信の満足度90%以上を維持する。(令和元年度93%)</p> <p>(2) ア・学校運営協議会を設置し、取り組み内容についてより多くの方が学校運営に参画し、十分に意見交換できたか。 ・(生徒向け) 学校教育自己診断における「学校満足度」90%以上をめざす。(令和元年度86%) (保護者向け) 学校教育自己診断における「学校満足度」90%以上を維持する。(令和元年93%) イ・専門家人材(SSW、SC、識者等)を活用し、機関連携や研修・講演等を実施したか。 ・連絡手段体制が確立し、想定訓練等も実施できたか。 ウ・広域外部サポーター(同窓会、自治体、企業、大学、NPO等)を活用し、南河内探究、社会探究、課題提案探究を実施できたか。 ・生徒会が中心となり幼稚園・小学校・中学校等と連携した活動ができたか。 ・探究活動の発表として広域外部サポーター(同窓会、自治体、企業、大学、NPO等)と協働で、「学びと育ち」地域フォーラムを開催できたか。 ・河川清掃などの地域でのボランティア活動を継続できたか。</p>	<p>(1) ア・中高一貫教育推進委員会が機能し、中高の課題について中高協働で協議する機会が定着し、課題解決に向けての取組みを実施した。 ・中高共通する委員会について改変案を作成し、来年度から実施する。 (教員) 分掌・教員間での中高連携満足度61%(R1 17%) (◎) イ 府外の先進校を中高の教員が訪問し、その成果を職員会議などにおいて中高全教職員で共有できた。(○) 中高一貫校等の先進校視察等(2回) ウ(保護者) 満足度92%(R1 89%) (○) ・保護者連絡ツールの改善、学年ブログの開設オンラインによる学習課題の提供</p> <p>(2) ア・学校運営協議会での熟議(3回予定)に加え、コミュニティ・スクールコーディネーター会議(学校運営協議会委員、同窓会C0・企業C0・地域C0)を開催(3回)した。(◎) ・(教員) 企業・大学・自治体等の外部団体との連携による教育活動の充実を努めている。100%(R1 61%) (◎) ・(生徒)「学校満足度」96%(R1 96%) (保護者)「学校満足度」95%(R1 94%) (○) イ・専門家人材(SSW、SC、識者等)活用 児童虐待防止研修(SSW7月) 課題を抱える生徒フォローアップ事業成果報告会(12月 中止) 生徒理解研修(大学教授 7月・2月) (○) ウ・広域外部サポーター活用 南河内探究(1年)、社会探究(2年)、課題提案型探究(3年)を広域外部サポーター(50団体)と協働実施。(◎) ・生徒会連携 あいさつ運動(小学校・地域) 富田林小学校と協働実施した。また、富田林駅前でもこころの再生府民運動・教育コミュニティづくり推進事業の一環としてあいさつ運動を実施し、新聞でも報道された。 ・生徒会サミット(中学校) (○) ・「学びと育ち」地域フォーラム2021(中高3月)を予定 ・地域ボランティア 石川大清掃(3月)を予定。</p>
<p>5 働き方改革の推進</p>	<p>(1) 業務効率の向上を図り、職員の心身の健康を維持する。 ア ノークラブデー、ノー残業デーの徹底 イ 校務の見直しによる業務の軽減化 ウ 「外部人材の活用等人的措置」により教職員の負担軽減を図る。</p>	<p>(1) ア 各クラブのノークラブデーの徹底を周知するとともに、本校のノー残業デーである金曜日に掲示板等での呼び掛けも行って、定時退勤を促す。 イ・校務(事業等)を見直すことで業務の軽減化を図る。 ウ・教育課題解決のための人材(SC、SSW、学生サポーター等)を「学校支援チーム」として効果的に配置することにより教職員の負担軽減をはかる。</p>	<p>(1) ア・ノークラブデーやノー残業デーが徹底されているか。また、時間外勤務が削減されたか。 イ・校務の見直しを図ったか。 中高協働で実施できる部活動5部以上をめざす。 ウ・外部人材を適切に配置したか。 ア、イ、ウとも、(教員向け) 学校教育自己診断結果における富田林中学校での勤務満足度(令和元年度56%)60%以上をめざす。</p>	<p>(1) ア・ノークラブデー(週2回) ノー残業デー(金曜) 職員朝礼などでも適宜、ノー残業デー等を周知し、時間外勤務の縮減に努めた。(○) イ・校務の見直し (○) 全教職員で学期制、時間外電話対応、探究活動、グローバル教育等を見直した。 中高協働実施の部活動(13部) ウ・外部人材を適切に配置したか。 SC(週1回)、SSW(月2回)、学生(週4回)を教育相談、関係諸機関連携、いじめ対策委員会、生徒指導、学習支援等において効果的に活用した。(◎) (教員) 勤務満足度83%(R1 56%) (◎) ・本校における業務については、中高一貫業務に係る特別な業務が多く、教職員数が少ないことでの業務過多が大きな課題である。</p>